

9月10日は下水道の日 下水道について知ろう

【問い合わせ】新館下水道課(☎41-3564)

9月1日は防災の日

近年、頻発化・激甚化する災害から身を守るため、今一度災害への備えについて見直しましょう。

【問い合わせ】本館防災危機管理課(☎41-3511)



近年頻発する豪雨災害

初夏〜10月頃にかけては、大雨や台風などによって土砂災害・洪水(河川氾濫・内水氾濫)などの災害が起これやすい季節です。
特に、ここ数年は、線状降水帯や大型台風によって全国各地で甚大な災害が発生しており、市内でも被害が発生する可能性があります。こうした大雨や台風の頻度と強度は地球温暖化に伴う気候変動によって、今後さらに増加すると予測されていることから、これまで以上に災害への意識を高め、十分な備えを行う必要があります。

災害から身を守るためには

自然災害に対しては、まず「自分の命は自分が守る」という意識を強く持つことが重要です。
また、「自分は災害には遭わない」という根拠のない思い込みに陥ることなく、一人一人が自らの判断で避難行動をとる必要があります。
そのためには、自宅や勤務先などの災害リスクを知っておく、避難経路や非常持ち出し品、災害・気象に関する情報を確認しておくなど、日頃の準備が大切です。



「下水道の日」の9月10日は雑節の一つである「二百二十日」にあたります。これは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」に関連しており、雑節の「二百十日」が台風特異日(台風が上陸しやすい日)とされていることから、それを過ぎた「二百二十日」が下水道の日として適当であるとされたことによりです。

下水道が詰まらないように気を付けてほしいこと

▼排水口に網や格子を付ける
台所、浴室などの排水口には、大きな物が流れ込まないように、必ず網や格子を付けましょう。

▼排水口に野菜くずや廃油を流さない
野菜くずやご飯の残り、天ぷら油やサラダ油などの食用廃油を流さないようにしましょう。

▼水洗トイレに異物(＊)を流さない
トイレットペーパー以外の紙、異物をトイレに流さないようにしましょう。

▼汚水ますに廃棄物を捨てない
土砂や廃油、木片などの廃棄物を汚水ますに捨てないようにしましょう。

＊令和6年度、下水道管施設に異物が混入したことで維持管理業者が出勤した件数は20件。主な混入物はマスク、ウェットティッシュ、下着類、モップ(布部分)、おむつ、ライターなどです。

下水道は私たちの快適な生活を支えています

下水道は、見えないところで私たちの安全・安心で快適な生活を支えています。
家庭などから排出された汚水(し尿や生活排水)は、下水道管を通して

て処理場を集められ、きれいな水になって川に放流されます。そのため、まちを清潔に保ち、川も汚しません。また、市街地の都市下水路は、大雨の際に速やかに雨水を排水することで、まちに雨水がたまらないうにしています。

下水道を使いたい！ どう手続きしたらいい？

下水道の使用を始めるには、宅内から道路の下水道管へ排水するため、排水設備の工事を行う必要があります。工事を行うには、事前に市への申請が必要です。
排水設備の工事は、市が指定する「排水設備工事指定店」のみが行えます。市への申請に必要な図面などの資料は、排水設備工事指定店に用意してもらったこともできますので、まずは排水設備工事指定店へご相談ください。
※排水設備工事指定店の一覧表は市ホームページに掲載しているほか、新館下水道課で配布しています。

作ってみよう マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、大雨や台風などの災害に備え、一人一人がとるべき行動について、「いつ」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の避難計画のことです。
自分の家族構成や生活環境にあった必要な情報・判断・行動を把握して、家族と一緒にマイ・タイムラインを考えてみましょう。

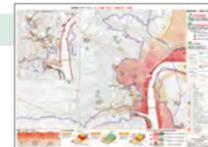


▲マイ・タイムライン(国土交通省)

1 ハザードマップで 災害リスクと安全な場所を確認

各世帯に配布されているハザードマップで、自分の住む地域に洪水や土砂災害などの危険があるか、避難する指定緊急避難場所や近くの安全な場所(親戚・知人宅やホテル・旅館など)はどこか、確認しましょう。

最新のハザードマップは、花巻市地図情報システム「はなまきデジタルマップ」から確認することができます。



▲はなまきデジタルマップ

2 情報収集の方法を確認

避難の準備や開始のタイミングの目安となるのは、最新の気象情報や避難情報です。

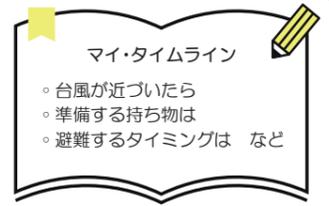
安全に避難行動をするために、情報収集ツールは複数準備しましょう。



3 マイ・タイムラインを作成

確認した災害や避難先の情報をもとに、どのように行動するかを家族で話し合い、その内容をマイ・タイムラインとして、まとめましょう。

一般社団法人日本損害保険協会のホームページでは、ウェブ上でマイ・タイムラインを作成し、家族間で共有することもできます。



▲日本損害保険協会ホームページ

